

目次
1頁 挨拶、バラのルーツ
2頁 企画事業
3頁 講習会、講演会
4頁 会員特典、他

佐倉ばら会通信

vol.2

発行年月日
2012年2月28日
発行部数
300部
発行人
前原 克彦

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力を、お願いいたします

佐倉ばら会（Sakura Rose Society）は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的に、平成22年（2010年）3月に設立されました。

これまでに、バラに関連した親睦事業や、バラの剪定・接ぎ木の講習会、バラに関する講演会等様々な活動を行ってきました。平成24年（2012年）度も、多彩な事業を展開していく予定です。これらの事業を通して、私たちの住む佐倉が、園芸による文化薫るまちに、また、潤いと感動のあるまちになっていくことを願っています。



佐倉草ぶえの丘 バラ園

会員の皆様には引き続き、ご支援、ご協力をいただきますようお願いする次第です。

また、まだ会員ではない皆様には、ぜひ佐倉ばら会の設立趣旨にご賛同を賜り、ご入会していただきますよう、併せてお願いいたします。

バルティモア・ベル
Baltimore bell

【シリーズー② 現代バラのルーツ】

ハマナシ（別名ハマナス）*R.rugosa*

分布 北海道 本州（南限：千葉県及び島根県）

ハマナシ (*R.rugosa*)

「えー、ハマナシってバラなの？」

良く聞かれる質問ですが、ハマナシは日本を代表するバラの原種です。北海道や東北地方の海岸に自生し、厳しい環境の中、美しい花、甘い香りを漂わせ、人々から愛されています。

「知床旅情」で歌われて有名になりましたが、その耐寒性と薫りの素晴らしさから、ヨーロッパで盛んに品種改良の親として使われ、園芸種バラ栽培の北限を押し上げた貴重な種です。特にドイツでは、ハマナシとテリハノイバラとの交雑により、耐寒性・樹勢の強いロサ・コルデシーと呼ばれる系統のバラが作られ、このバラを交配の親として出来たバラが盛んに北ヨーロッパで植えられています。みなさんがデンマークやドイツ、スウェーデン、フィンランド等の北欧を旅したときに、街角で見かけたバラはこのハマナシの子孫かもしれません。

また、東北地方ではハマナシの花や実を使って甘いジャムを作り、その味と香りを楽しんでいます。バラの実にはレモンの20倍のビタミンCが含まれると言われますが、ハマナシは日本の原種の中で一番大きな実をつけます。その実の姿から「浜の梨」つまりハマナシになったと言われています。皆さん、ぜひ、ハマナシ及びその交配雑種をガーデンに植え、花の美しさ、芳香、ローズヒップの美しさをお楽しみください。

（佐倉ばら会 会長 前原 克彦）

23年度会員様の有効期限は3月31日で終了致します。
24年度会員更新のお手続きをお願い申し上げます。 ⇒

詳しくは
佐倉ばら会「事務局」
までお問合せ下さい

学び、楽しみ、親睦を深めました。 佐倉ばら会事業

日帰りバス研修「ローズガーデン散策とランチ」10月11日(火)



花菜ガーデンの園内



20世紀前半を代表するチェコの作家
カレル・チャペック
(Karel Čapek)
1890-1938

新聞記者であり、作家であったカレル・チャペックは、評論、小説、童話、旅行記、エッセイ、戯曲と幅広い分野で筆をふるいました。



再現されたチャペックの家



ハロウィンの装飾が施された横浜バラクライングリッシュガーデンの園内。(左)と、エントランス(右)

前年度初めて行った勝沼ワイナリー日帰りバスツアーに続き、今回は、横浜市にある「横浜バラクライングリッシュガーデン」と、平塚市にある「神奈川県立花と緑のふれあいセンター花菜(かな)ガーデン」見学会とホテルランチを楽しみました。

敷地面積約4万平方メートル、出店メーカー28社50棟という住宅展示場としては、日本最大級の規模を誇る総合住宅展示場「tvkハウジングプラザ横浜」の隣接地に、一昨年の3月19日にオープンしたのが、「横浜バラクライングリッシュガーデン」。地球環境と心の癒しをテーマに、tvk(テレビ神奈川)のプロデュースによる、首都圏で初の本格的英国式庭園です。庭園は、英国園芸研究家で、ファッションデザイナーでもあるケイ山田さんが総合監修とデザインを担当。一年草、宿根草、球根等が植えられ、周囲が木々に囲まれた約800坪の芝生エリアであるナチュラルガーデンと、ローズガーデン、テラコッタガーデン、ホワイトガーデン、ハーブ&ベジタブルガーデンの4つのコンセプトガーデンからなる約2,000坪の広さで、蓼科高原バラクライングリッシュガーデン(長野県茅野市)と同規模のバラクラショップも併設されています。

また、四季折々の花の観賞に加え、園芸や農業を楽しみながら学ぶことができる施設として、やはり一昨年の3月1日にオープンしたのが「神奈川県立花と緑のふれあいセンター花菜ガーデン」です。

平塚市の旧農業総合研究所跡地に開設されたもので、敷地面積は、横浜スタジアムの約3.5倍の92,000平方メートル。花菜ガーデンは、大きく3つのゾーンに分かれており、「フラワーゾーン」は、サクラやバラ、クレマチス、モミジ等約3,280品種の花々が植栽され、「アグリゾーン」では、田植えや野菜の植え付け、収穫などを体験することが出来て、「めぐみの研究棟」には、農業や食の大切さを学べる体験ルーム、展示室、ライブラリー等が開設されています。

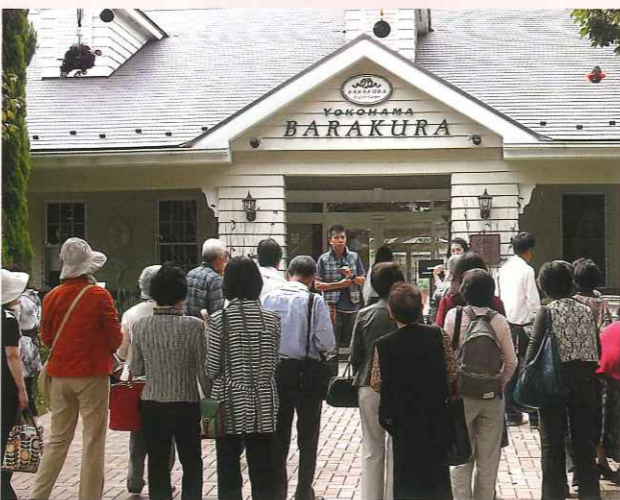
また、花菜ガーデンが理想とする園芸家として、カレル・チャペックを取り上げ、チャペックの家と庭としてガーデン内に再現しています。カレル・チャペックは、新聞記者であり、20世紀前半のチェコを代表する作家でもあり、「ロボット」という言葉を作った人物としても有名で、幅広い分野で筆をふるい、純文学からSF、推理小説、戯曲、童話、評論、伝記、エッセイ等、多岐にわたっています。また、園芸をこよなく愛した作家でもあり、そのエッセイ「園芸家12ヵ月」は、発表から80年以上も経た現在でも、世界中で愛読されています。

なお、「フラワーゾーン」内の薔薇の轍(わだち)には、日常目にする約890品種、約1,100株が展示され、バラの歴史や時代背景に沿って、系統分類ごとに品種展示されたバラの歴史園も開設されています。また、花菜ガーデンのシンボルローズでもあり、開園を記念して名づけられた花菜ローズは、咲き出しはモダンローズのような整った花の姿ですが、咲き進むにつれてオールドローズのようなロゼット咲き(多くの花卉が密集する咲き方)になり、花の型、香り、樹形のほか、樹勢、耐病性にも総合的に優れた品種だということです。

参加された皆さんは、しばし都会の喧騒を忘れ、自然を満喫するなかで、ガーデンニングや、庭園美の素晴らしさを体験し、親睦を深めた一日でした。

☆各施設の問い合わせ☆

- ◆横浜バラクライングリッシュガーデン
〒220-0024 神奈川県横浜市西区西平沼町6-1 (☎045-326-3670)
- ◆花菜ガーデン(指定管理者 株式会社かながわGAパートナーズ)
〒259-1215 神奈川県平塚市寺田縄496-1 (☎0463-73-6170)



孔版画教室「バラの版画作り」

11月24日(木)

佐倉草ぶえの丘の講習室で、孔版画教室「バラの版画作り」が行われました。

これは、年賀状の時期にあわせて、孔版画でバラを楽しんで貰おうと、今年初めて開催したものです。教室では、「佐倉ばら会」前原克彦会長より挨拶があり、佐倉草ぶえの丘バラ園で、現代バラのルーツである貴重な品種を育成・保存していることや、春の最盛期は勿論、様々なバラの実を鑑賞することができる秋のバラ園も楽しんで欲しいと、参加者に呼びかけました。



現代版画会会員で、四街道市芸術文化団体連絡協議会事務局長、四街道市美術協会理事の西岡とし子氏。



孔版画教室には、佐倉市、四街道市、松戸市等から16名が参加。講師には、四街道市在住の孔版画家、西岡とし子さんを迎えました。孔版画は、日本で生まれた独自の技法で約100年の歴史を誇ります。シルクスクリーンと呼ばれる紙に、製版液を付けた毛筆で絵を描き、板目紙を使用した手作りの刷器で刷り上げていきます。この日は参加者の大半が初心者。サポートで訪れていた西岡さんの生徒さんに、何度も作業を確認する場面が見られました。題材のバラは、佐倉草ぶえの丘バラ園に咲くバラをモチーフに、西岡さんが事前に用意したもので、参加者は毛筆でシルクスクリーンの上から描き、鉄筆で輪郭をなぞります。細部の質感にこだわり、平らな鉄筆で花びらの面をぼかす等、同じ題材でもそれぞれ異なるバラが描かれていきます。刷り上がりのイメージがつきにくい中で、西岡さんが絵の具を混ぜ合わせてローズカラーを作り、一人目の絵柄を刷り上げると、参加者から歓声があがりました。その他、黄色や淡い色で刷ったり、バラ以外にも来年の干支をモチーフにした辰の絵柄や、あらかじめ自分が描いてきた絵柄で刷る人もいて、様々なオリジナルハガキが完成。参加者同士で互いに絵柄を交換しあう姿も見られました。孔版画に初めて挑戦した四街道市在住の参加者は、「絵を描いて自分で何かを作ること自体が子どもの時以来で楽しい!」と、自分の手で刷り上っていく年賀状に目を輝かせていました。中には、刷り上がったバラの年賀状に「バラ色の夢を!」とメッセージを綴る参加者もいて、個性溢れる年賀状が新年の訪れを告げたことでしょう。



草ぶえバラ園内

「秋バラの剪定」 <8/26(金)>



バラをもっと知りたい、育てたい!プロから学ぶバラの講習・講演・お食事会

前年度に引き続き開催された秋バラの剪定講習会を開催しました。講師は、前原克彦佐倉ばら会会長。参加された皆さんには、全般的な講義を受けた後で、実際に佐倉草ぶえの丘のバラ園の貴重なバラを剪定していただきました。剪定は、秋に咲く花の位置や、見た目を美しくするために必要とのこと。この時期に剪定を行うことで、木が休んで力を蓄え、秋には一斉につぼみをつけて、時期を同じくして花を咲かせる、ということでした。参加された皆さんにも、剪定の基本が良く理解出来た、実際の開花の状況が楽しみ、など、好評をいただきました。



講習の終わりに ローズテラスでお食事



「バラのお話」 <11/4(金)>



バラにまつわるお話を聞きながら、優雅にティータイム会食という企画で、バラの美しい季節にあわせての講演会でした。講師は、NPOバラ文化研究所副理事長として、佐倉草ぶえの丘バラ園の運営にも携わり、佐倉ばら会の名誉会員でもある野村和子氏。古くから人類の進歩とともに親しまれてきたバラですが、今回は、特に「王朝の薔薇」をテーマに、チューダー王朝のバラ戦争終結のシンボルとなったチューダーローズ、また、ブルボン王朝や、ナポレオンの時代にかかわる数々のバラのお話、さらには、日本における平安朝のバラ、特に、枕草子や源氏物語、古今和歌集等の書物に登場するバラ、さらに、鎌倉時代の春日権現霊驗記絵に赤いバラが描かれていること等、参加された皆さんも興味深く聞き入っていました。

「バラの接ぎ木」 <24年1/12(木)>



バラの繁殖方法としての接ぎ木(切り接ぎ、芽接ぎ)等についての概略の説明後、今回は、冬の休眠期に行う、台木と穂木の形成層と形成層とを接着させる切り接ぎという接ぎ木方法について、佐倉ばら会会長の前原克彦氏から、具体的かつ丁寧な指導実習が行われ、3種類の接ぎ木を実際に作りました。なお、接ぎ木後の管理については、5度から10度の低温で行い、急激な温度上昇を避け、発芽後は、過度の湿度と高温を避け、丈夫な苗にするために、なるべく早く日光にあて、風通しの良い環境をつくること、等の注意があり、参加した皆さんは、接ぎ木が成功したかどうかは、春先まで待つ必要がありますが、今後の成長が楽しみと、それぞれ接ぎ木をした鉢を持ち帰って行きました。



接ぎ木。大成功!
2月1日発芽しました!

☆ 今年、**第12回国際ヘリテージローズ会議2012**、佐倉 が開催されます☆

昨年、東日本大震災の関係で、開催を延期した「世界バラ会連合公認 第12回国際ヘリテージローズ会議2012、佐倉」が、平成24年(2012年)5月31日(木)から6月6日(水)まで、国立歴史民俗博物館、佐倉草ぶえの丘バラ園等を会場に開催されることになりました。

世界バラ会連合は、1968年に設立、各国を代表するバラ会で構成され、現在、日本を含む41か国が加盟し、3年ごとに世界大会を開催してきました。また、これとは別に、1984年から国際ヘリテージローズ会議が世界各地で開催されており、ヘリテージローズ、すなわち、人類の遺産として後世に伝えるべきバラや、野生種についての研究、保存等のために必要な情報交換を行ってきました。この流れが、ヘリテージローズに対する関心の世界的な高まりを受け、2006年に大阪で開催された世界バラ連合世界大会で、同連合に、ヘリテージローズ委員会が結成、2009年にバンクーバーで開催された世界大会で、国際ヘリテージローズ会議が、世界バラ連合の行事の一つとして、3年ごとに開催していくことが決定したものです。

今回、アジアで初めて開催されるこの会議を通して、バラを愛する人々の友好を深めていただくとともに、バラに関する研究成果の発表、情報交換等の場となることと併せ、世界に佐倉市を知っていただく機会となることが期待されています。佐倉ばら会も、この会議開催に協力していきますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

主な日程は、5月31日(木)、午後から国立歴史民俗博物館で、開催記念公開講演会、夕方から佐倉草ぶえの丘バラ園で、ウェルカムパーティー、6月1日(金)から3日(日)までは、午前にバラに関する講義、午後はデイ・ツアー等が行われる予定です。

日程等詳しいお問い合わせは、**同会議実行委員会事務局(佐倉草ぶえの丘 NPOバラ文化研究所内 ☎486-9356)** または、下記公式ホームページでどうぞ。

☆国際ヘリテージローズ会議公式ホームページ☆

<http://www.heritageroses.jp/conference-sakura2011/>

佐倉ばら会へのお誘い

1ページでもお知らせしていますが、佐倉ばら会では、会員を募集しています。各種事業を通じて、会員相互の親睦を図りながら、バラや植物の知識を習得し、佐倉のまちを美しく、潤いのあるまちにしていきたいませんか。正会員の年会費は3,000円、会員の皆さまには、下記のような各種特典もございます。その他、詳しくは、下記の佐倉ばら会事務局までお問い合わせください。また、ホームページからも申し込みが出来ますので、ぜひご覧のうえ、お申し込みください。

会員特典の内容

◎**リストランテ ヴォナフォルトゥーナ(イタリアンレストラン)**

会員を含むお客様で、お一人2000円以上ご飲食の場合、合計金額より10%引き。

〒285-0854 佐倉市上座 498-7 松村ビル1階 (☎463-7147)

◎**株式会社木村屋(蔵六餅本舗)**

自社製品につき10%引き。

〒285-0023 佐倉市新町 222-1 (☎484-0021)

◎**佐倉草ぶえの丘**

入場料360円(通常400円)

〒285-0003 佐倉市飯野 820 (☎485-7821)

◎**佐倉草ぶえの丘内 ローズテラス**

500円以上お買い上げの方に、特製ばらのマドレーヌ1つ(180円相当)をプレゼント。

〒285-0003 佐倉市飯野 820 (☎488-4845)

◎**日本サーナ株式会社(サーナビア)**

10%引き(一部商品を除きます)。

〒285-0801 佐倉市木野子 158 (☎498-2244)

◎**Seroosya Flowers(セルージャフラワーズ)**

生花お買い上げ額の10%相当の金券を進呈。

〒285-0857 佐倉市宮ノ台 3-2-5 ホワイトハウスA-5 (☎306-1487)

※各店舗で特典をご利用の場合は、佐倉ばら会の会員証のご提示をお願いいたします。なお、ご使用はご本人様のみとさせていただきます。

 **佐倉ばら会 Sakura Rose Society** 事務局

佐倉市宮ノ台 3-2-5 ホワイトハウスA 5 TEL/043-306-1487 FAX/043-306-1490

<http://rose-society.net> (公式サイト) srs@rose-society.net (お問い合わせメール)